



# 移動式クーラー

## 取扱説明書

家庭用《保証書付》

型  
式

KEP

253R

排熱ダクト付き

このたびは当社の製品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。

目  
次

- ①製品の仕様
- ②安全上のご注意
- ③組み立て方法
- ④正しい使い方

- ⑤お手入れと保管
- ⑥「故障かな?」と思ったら
- ⑦保証とアフターサービス

### ① 製品の仕様

型 式	KEP253R	
定 格	単相 AC100V	
	50Hz	60Hz
冷 房 能 力 (kW)	2.3	2.5
消 費 電 力 (W)	720	850
運 転 電 流 (A)	8.7	8.8
始 動 電 流 (A)	28	27
除湿能力(リットル/日)	33	39
圧 縮 機	全閉型ロータリー(出力0.73kw)	
冷 媒	HFC R410A(GWP値:2090)	
冷 媒 封 入 量 (g)	430	
圧 縮 機 保 護 装 置	オーバーロードプロテクター	
外 形 尺 法 (mm)※ダクト含まず	約 幅 317×奥行 402×高さ 770	
質 量	約 21 kg	
電 気 代 (1時間あたり)	約 19 円	約 23 円
使 用 環 境	16°C~35°C	

- 冷房能力および、電気特性は室温27°C相対湿度60%の条件で運転したときの値です。
- 電気代は強冷風運転時の消費電力を 1kWh:27円(税込)で算出しています。

## ② 安全上のご注意

### 記号の絵表示について

人への危害や財産の損害を未然に防ぐための重要な内容です。必ずお守りください。

★誤った使い方をされたとき生ずる被害を2つに区分

 <b>警告</b>	①人が死亡や重傷を負うおそれがある内容
 <b>注意</b>	②人が傷害を負うおそれや財産の損害を負うおそれがある内容

・本文中の絵表示の表す意味です。

してはいけない「禁止」の内容です。		一般的な禁止
		分解禁止
		ぬれ手禁止
必ず実行していただく「強制」の内容です。		必ず行う
		電源プラグを抜く
		アースを取り付ける

### !**警告**



絶対に改造しない。

火災・感電・ケガのおそれがある。



修理技術者以外の人は、分解・修理をしない。

火災・感電・ケガのおそれがある。



交流100V以外での使用はしない。

漏電・感電・火災などの原因になる。



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引つ張ったり、ねじったり、束ねない。

電源コードを破損し、火災や感電の原因になる。



次の場所や屋外では使用しない。

感電、ショート、および火災、爆発の恐れがある。また、事故や故障の原因になる。

- ・火気の近く
- ・雨や水しぶきのかかる場所

- ・油や油煙が製品に直接かかる場所

- ・ガスや蒸気、化学物質などの爆発性粉じんが発生する場所

- ・灯油、ガソリン、シンナー、ベンジン、塗料など引火性のものがある場所



本体の上に水などの液体の入った容器を置かない。

こぼれた水などで電気絶縁が悪くなり、感電・漏電火災などの原因になる。

## ② 安全上のご注意(つづき)



### 警告

- 本体に衣服や洗濯物等を載せたり近くに置かない。  
可動部にからまり、故障の原因になる。
- 定格15A以上のコンセントを単独で使用する。  
他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱し発火するおそれがある。
- 水平で硬い安定した場所に設置する。  
また、本体は横倒しにしない。
- 差込プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る。  
差込プラグにほこりなどがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になる。
- 包装用ポリ袋は子供の手の届かない場所に保管する。  
顔に貼り付いたり巻き付いたりし、窒息による死亡やケガの原因になる。
- お手入れ、取り付けのときは、差込プラグをコンセントから抜く。  
ぬれた手で抜き差ししない。  
感電のおそれがある。
- アースを確実に取り付ける。  
故障や漏電のときに感電のおそれがある。



### 注意

- アルミニウム・亜鉛・マグネシウム・チタンなどの爆発性粉塵・ガス蒸気等の近くでは使用しない。  
爆発・火災の原因になる。
- 電源コードや延長コードは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。  
コードが発熱して火災の危険がある。必ず伸ばした状態で使用する。
- 電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。  
感電やショートして発火することがある。
- 電源プラグにピンやゴミを付着させない。  
感電やショートして発火することがある。
- 船舶・車両等の空調用として使用しない。  
水漏れ・漏電の原因になる。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。  
感電やショートして発火する恐れがある。
- 動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に必ず点検修理を依頼する。  
感電・漏電・ショートなどによる火災の恐れがある。
- 使用しないときおよび、お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く。  
ケガ、やけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になる。

## ② 安全上のご注意(つづき)

### !**注意**

-  **電源コードに重量物をのせたり、挟み込まない。**  
電源コードが破損し、火災や感電の原因になる。
-  **延長コードを使用するときは、延長コードの断面積が2.0㎟以上の中ものを15m以内で使用する。**  
コードが発熱して火災の原因になる。
-  **障害物(カーテン等)の近くや振動・傾斜のある場所で使用しない。**  
転倒などによりケガや事故の原因になる。
-  **冷風を長時間体にあてない。**  
体調悪化・健康障害になる。
-  **テレビやラジオ等のAV機器から2m以上離す。**  
電波障害の原因になる。
-  **排熱口・冷風吹出し口や底面に指や手を入れない。**  
ケガをする原因になる。
-  **運転可能条件範囲内で使用する。**  
感電・火災・故障の原因になる。  
16°C~35°Cの雰囲気内で使用する。
-  **フィルター部に紙や物を貼らない。**  
定期的にフィルター部の掃除を行う。  
ゴミ、油分などが付着すると目詰まりにより、霜の発生・水滴吹き出しの原因になる。
-  **移動する時は、必ず取っ手を持って移動する。**  
ケガをする原因になる。
-  **搬入・移動に際しては、重心・重量を考慮して作業をする。**  
落下・破損などによりケガをする原因になる。
-  **人手により運搬や持ち上げる際は、腰だけをかがめず膝もまげて持ち上げるようにする。**  
腰を痛める原因になる。
-  **保管する時は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。**  
感電やケガの原因となる。

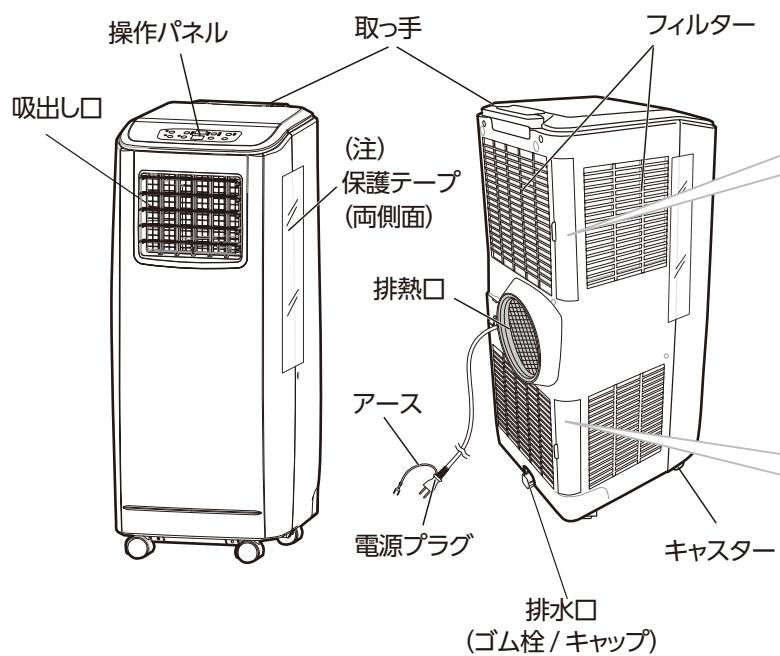
### ■ 廃棄について

本製品は、特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)の適用製品ではありません。廃棄する場合は、専門の回収業者に委託し適切に処理してください。廃棄についてご不明な点は、各地方自治体の窓口にご相談ください。

### ③ 組み立て方法

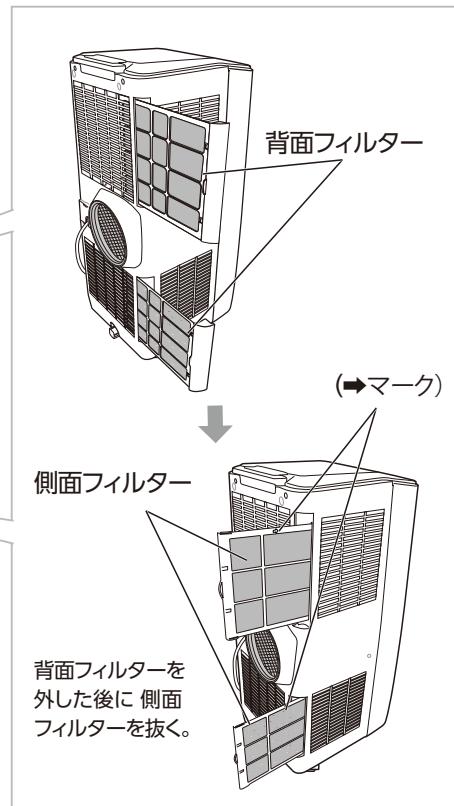
#### 各部の名称

(前面)

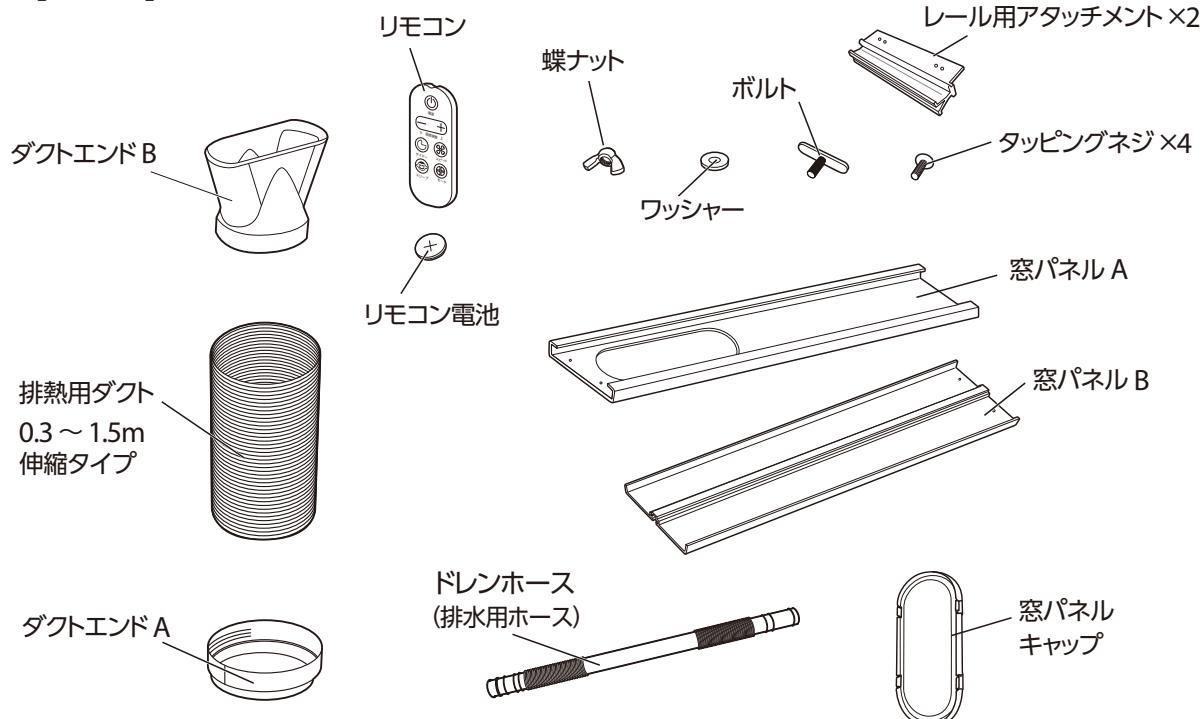


(注)ご使用前に本体保護テープは剥がしてください。

(背面)



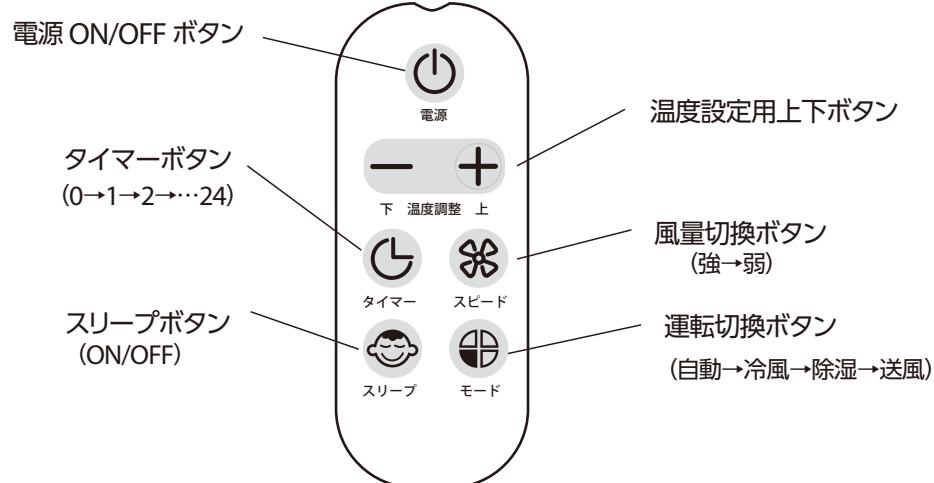
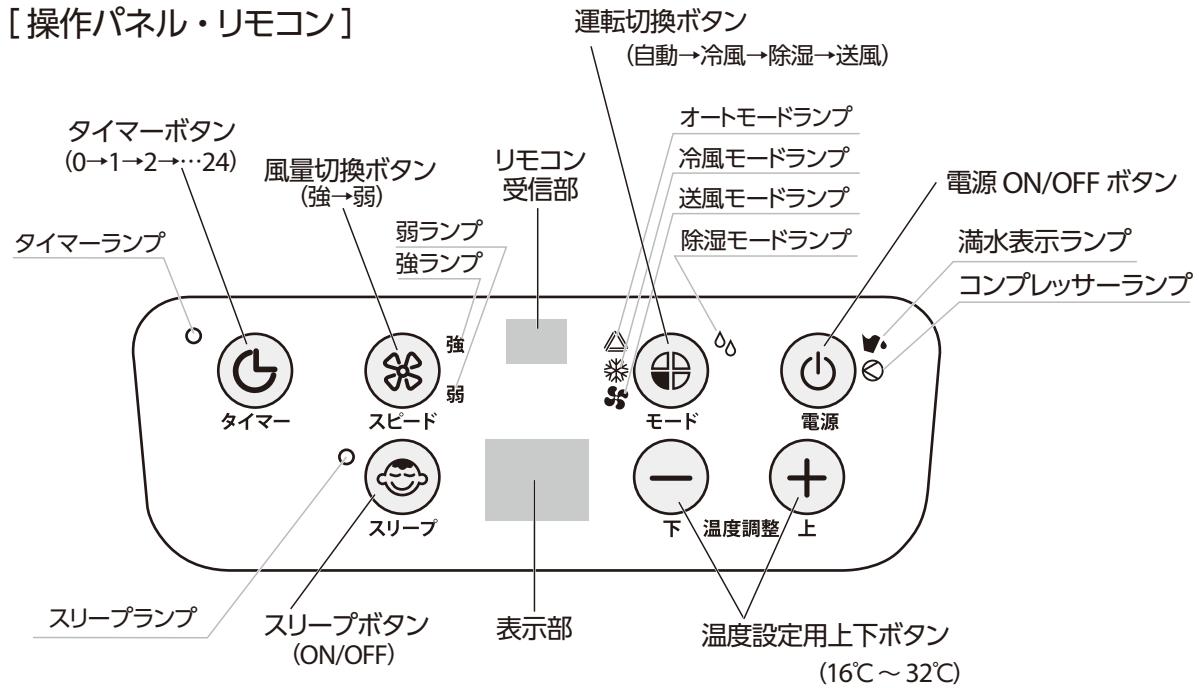
#### 【付属品】



### ③ 組み立て方法(つづき)

#### 各部の名称(つづき)

##### [操作パネル・リモコン]



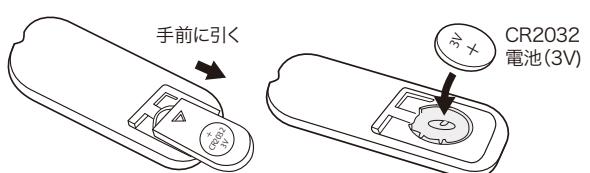
#### リモコンの準備

##### 電池を入れる

・リモコン裏面のフタを手前に引いて外し $\oplus$  $\ominus$ を間違えないように円形リチウム電池を入れてください。

お願  
い

- 交換用リチウム電池は、CR2032をお買い求めください。
- 電池の $\oplus$  $\ominus$ を間違えないように正しく入れてください。
- 長期間使わないときは、電池を取り出してください。
- 使用済みの電池はお住まいの地域の分別方法に従って廃棄してください。(廃棄の際はセロハンテープなどを巻きつけて絶縁してください。)



##### 注意

電池やリモコンを乳幼児のそばに放置しない。  
万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。  
また、乳幼児がリモコンから電池を取り出さないように注意してください。

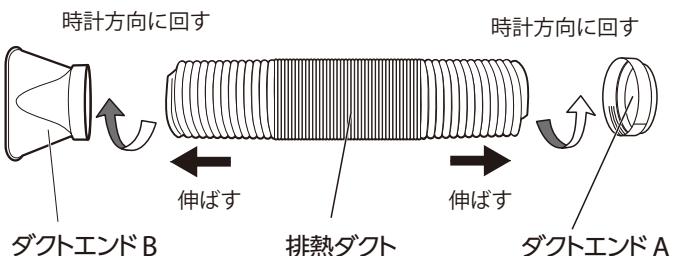
### ③ 組み立て方法(つづき)

#### 排熱ダクトの取り付け

##### 1. 排熱ダクトの組立

- ・排熱ダクトの両端を伸ばします。

- ・ダクトエンドA・ダクトエンドBを排熱ダクト両端に挿入し、止まる所まで時計方向に回して固定してください。

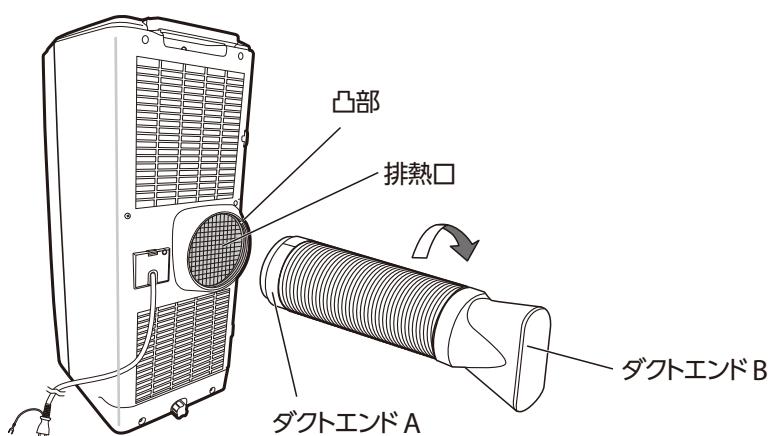


#### !**注意**

- 本製品は、室内機と室外機に分かれている家庭用エアコンとは異なり、一体型のため、前から冷風が出る時は背面から温風がでます。
- 冷風運転時、室温の上昇を抑えたい場合、排熱ダクトと窓パネルを使用してください。
- 排熱ダクトの延長(継足し)はしないでください。機能を妨げ、故障の原因になります。付属品の排熱ダクトを延長(継足し)することはできません。  
安全装置が作動し運転が継続できなくなる場合があります。
- 排熱ダクトが潰れている場合は、速やかに潰れを直してください。

##### 2. 排熱ダクトの本体取り付け

- ・排熱口の凸部とダクトエンドAの凹部を合わせて右側に止まるまで回すと取り付けられます。



- ・排熱ダクトをお好きな長さに伸ばしてください。  
排熱ダクトの長さは短いほど冷房効率は上がります。

#### !**注意**

- ・排熱ダクトを調整する時は、排熱ダクトの根元に負荷がかからないように必ず手を添えて行ってください。

### ③ 組み立て方法(つづき)

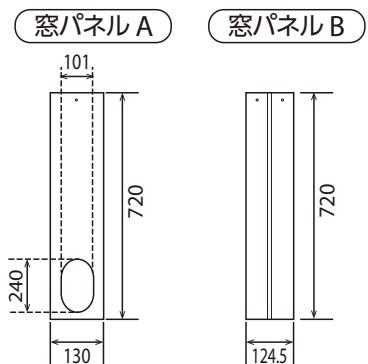
#### 窓パネルの組み立てと取り付け

- 窓パネルを取り付ける前に、窓の高さを測ってください。窓の高さが785mm～1415mmまでの対応になります。
- 窓の高さが1415mm～2000mmの場合は、別売品(オプション)「KEA05K」をお買い求めください。

※785mm～1020mmまでは、取り付け長さに合わせて、パネルBのレール用アタッチメント取付穴の無い方をノコギリ等で切断して調節してください。この時、必ず2枚の窓パネルが70mm以上重なるようにしてください。ノコギリ等で切断した切り口はナイフやヤスリ等で仕上げてください。

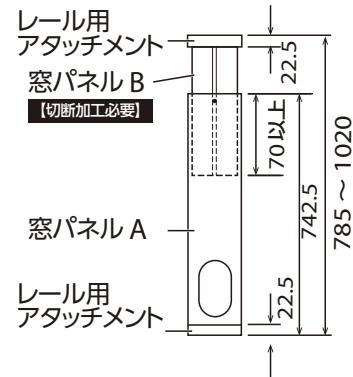
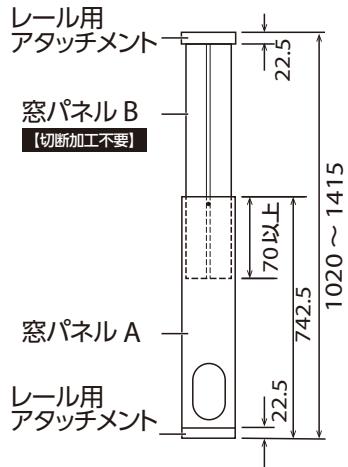
窓パネル単体寸法

※単位mm



窓パネルセット寸法

※単位mm



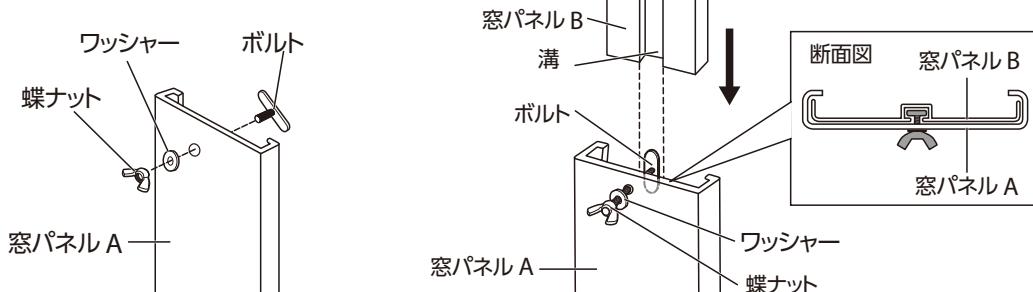
#### ！注意

- 冷風運転時、室温の上昇を抑えたい場合、排熱ダクトを窓パネルを使用してください。
- 雨どい真下は避け、吹き下し等により窓から雨水が侵入しない場所に取り付けてください。  
室内を汚す原因になります。
- 排熱口からの風切り音や、本体の振動等により騒音を発生する場合がありますので注意してください。
- 雨や風が強い時は、使用を中止し窓パネルを取り外してください。
- 鉄製の窓や特殊な窓には取り付け出来ないことがあります。
- 窓サッシ固定用の補助鍵を使用する場合は、市販品を購入してください。

- 窓パネルAの上端中央の穴にボルトと蝶ナットを仮止めしてください。

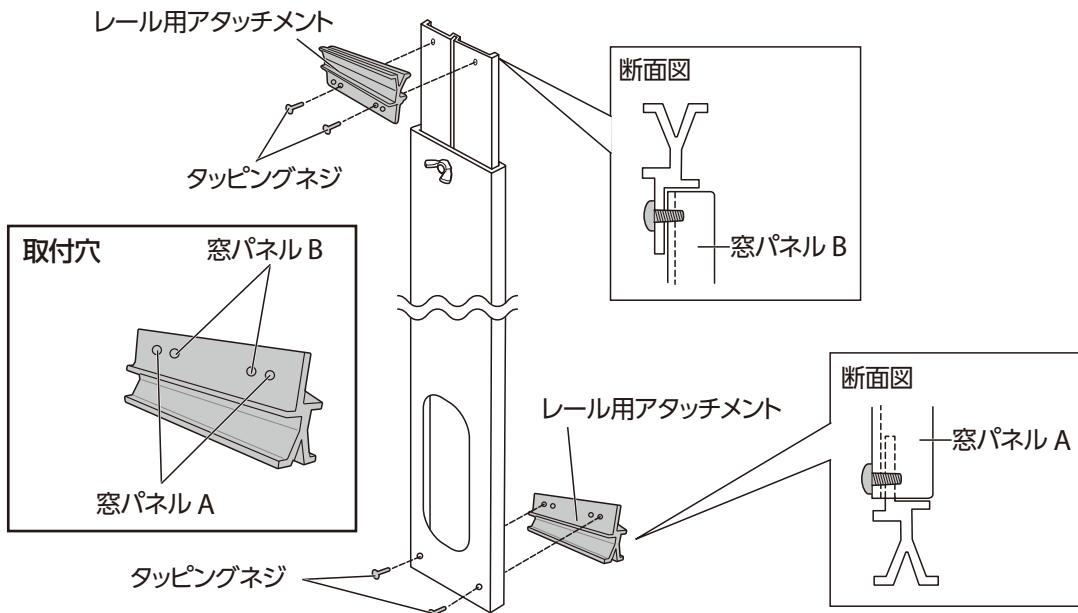
※2周くらい回した状態で結構です。

- ボルトの頭部と窓パネルBの溝を合わせて、窓パネルBを窓パネルAに挿入してください。

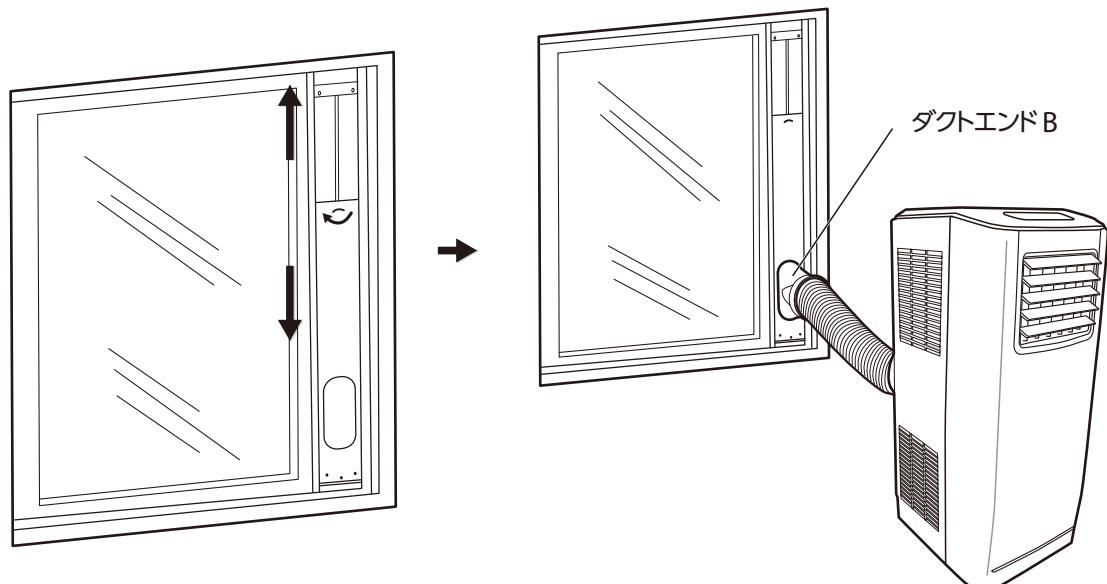


### ③ 組み立て方法(つづき)

#### 窓パネルの組み立てと取り付け(つづき)



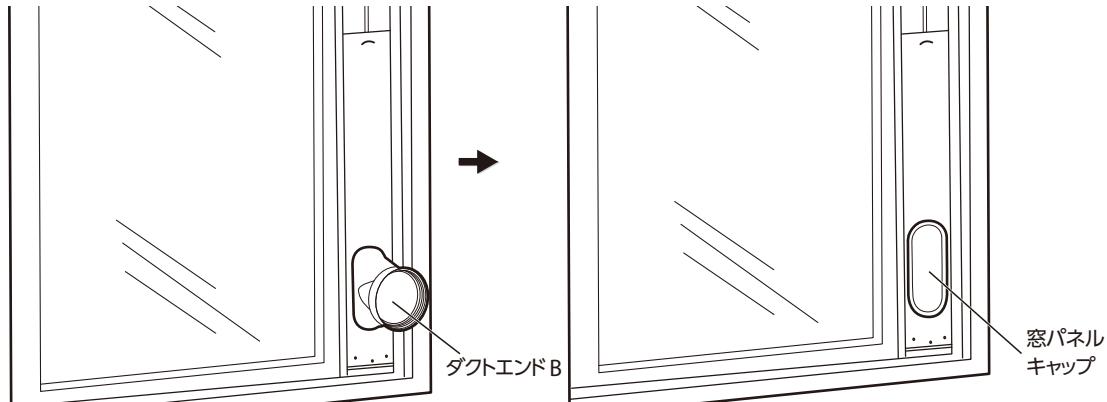
- ・組み立てた窓パネルを窓枠の上下レールに合わせて蝶ナットをしっかりと締め付けて固定してください。  
※取り付けが不十分ですと、落下によるけがの原因になりますので、十分注意してください。  
※必ず窓の戸と同じレールに取り付けてください。  
※窓枠と窓パネルのすき間が大きい場合は、市販のすき間用ソフトテープ等を使用してください。
- ・ダクトエンドBを窓パネルの穴に差し込んでください。



### ③ 組み立て方法(つづき)

#### 【キャップの取り付け】

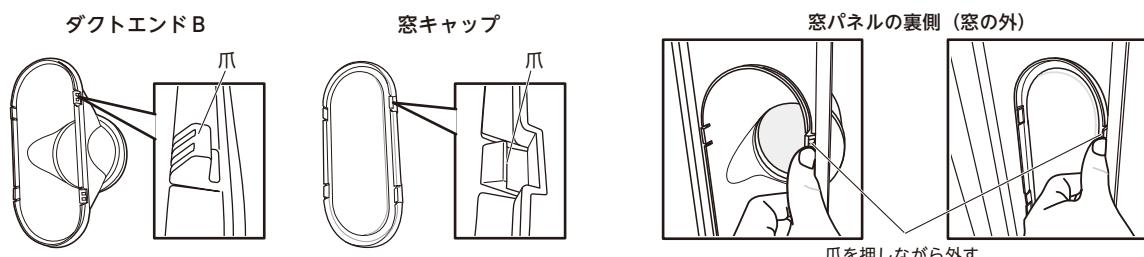
○排熱ダクトを使用しない場合は、キャップを窓パネルの穴に取り付けてください。



#### 【ダクトエンドB、窓キャップの取り外し方】

※ダクトエンドB、窓キャップは脱落防止のため、容易に外すことができないようになっており、室内から取り外すことができません。

※窓パネルからダクトエンドBや窓キャップを取り外すときは、窓パネルの裏側(窓の外)からダクトエンドB、窓キャップの爪を押しながら外してください。



#### △ 注意

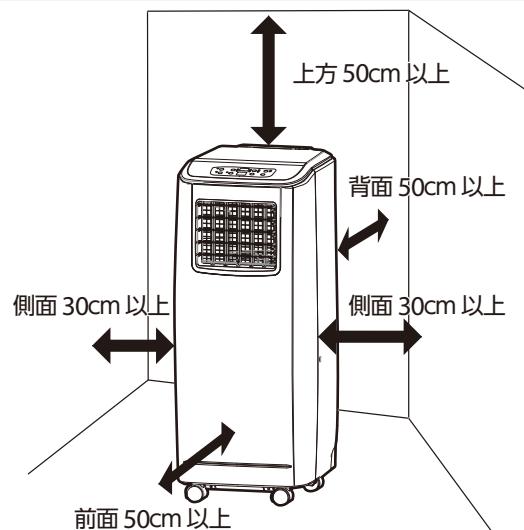
●製品は重量がありますので、けがをしないように必ず2人以上で設置・移動を行ってください。

・効率よく運転するために右図のスペースを確保してください。

※平らでしっかりとした床面に設置してください。

※上方の棚等からも、物が落ちない場所に設置してください。

※直射日光のあたらない場所に設置してください。



## ④ 正しい使い方

### 本体と電源の接続

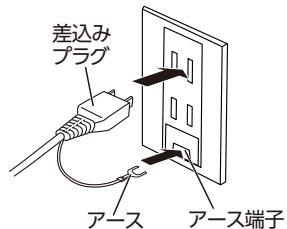
#### 1. アース線の接地をしてください。

##### ●コンセントにアース端子がないとき

お買上げの販売店にアース工事(有料)を依頼してください。  
アース工事(D接地工事)は、電気工事士の資格が必要です。

##### ●コンセントにアース端子があるとき

アース先端を確実にアース端子に接続してください。



次のところにはアース線を接続しないでください。

#### △ 注意

- ・ガス管…爆発や引火の危険性があります。
- ・水道管…プラスチックの部分があり、アース効果がありません。
- ・避雷針・電話のアース線…落雷のときに大電流が流れ危険です。

#### 2. 電源は、直接コンセントからとってください。

##### ●電源は直接コンセントからとるのが望ましいのですが、やむを得ず延長コードをご使用になる場合は、右表に従ってご使用ください。

延長コードが細かったり、長すぎたりしますと電圧降下により冷風が出ないことや運転しない場合があります。

電線の長さ	公称断面積
15m以内	2.0mm <sup>2</sup>

#### △ 警告

- 電気工事、アース工事には資格が必要です。詳しくは、お買上げの販売店にご相談ください。
- 労働安全衛生規則第333条・第334条および電気設備の技術基準により、漏電ブレーカーの取り付け・接地が義務づけられています。

「漏電ブレーカーは15A、30mA、動作時間0.1sec以内の物をご使用ください」

### オートモード運転(△)

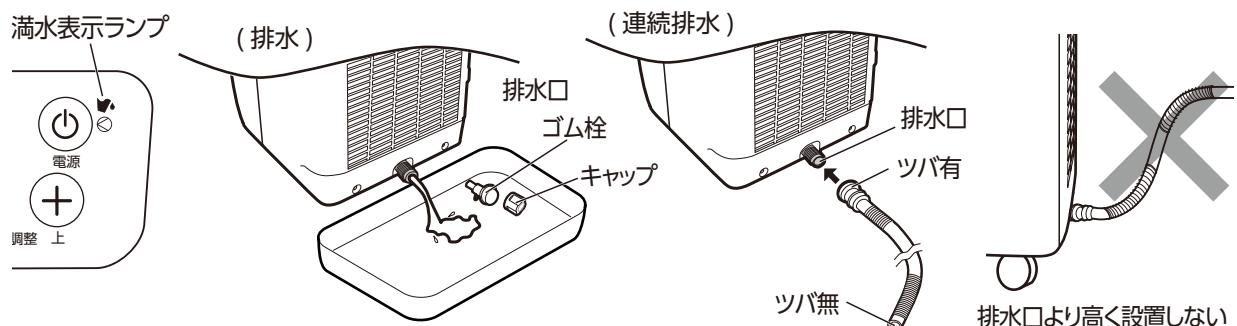
#### △ 注意

- 冷風運転時、排熱ダクトと窓パネルを使用せずに閉め切った室内で使用すると室温が上昇します。  
排熱ダクトと窓パネルを使用することにより、室温の上昇を抑え効率的に使用できます。

- 本機はノンドレン機構になっており、冷風運転時ドレン水を排出する必要がありません。

湿度が高い場所で運転を行うと、ドレン水が溜まりやすく満水ランプが点滅して停止する事があります。

- ・満水ランプが点滅して停止した時は、市販の容器等を用意し排水口のゴム栓とキャップを取り外して本体内に溜まつたドレン水を排出してください。本体を排水口の方に傾けると効率よく排水できます。  
ドレン水を抜いた後は、排水口のゴム栓とキャップを確実に取り付けてください。ゴム栓キャップを外したまま運転すると、室内を濡らす原因になります。
- ・ドレン水を連続排水したい場合は、排水口にドレンホースを取り付けてください。ドレンホースは、排水口より高く設置しないでください。水漏れの原因になります。



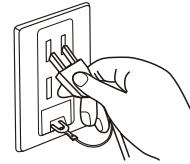
## ④ 正しい使い方(つづき)

### オートモード運転(△)(つづき)

①電源プラグをコンセントに差し込んでください。

②操作パネルまたはリモコンの「電源」ボタンを押してください。

リモコンは、本体操作パネルの方向に向けて5m以下の距離で使用ください。  
表示部に室温が表示されます。



③操作パネルまたはリモコンの「モード」ボタンを押してオートモード(△)を選んでください。

室温が室温設定温度(注)より高い場合、数秒後「※」が点灯します。この時「スピード」ボタンは操作できません。

また、室温が設定温度より低い場合「❀」が点灯します。この時「温度調整」ボタンは操作できません。

(注) 設定温度は、工場出荷時は「24°C」に設定されています。その後は、前回設定された時の設定温度が記憶されています。

④操作パネルまたはリモコンの「-+」ボタンを押して設定温度を設定してください。

※「-+」ボタンを押すと、現在の設定温度が点滅しますので、さらに「-+」ボタンを押すことで16°C~32°Cまで1°C単位で設定できます。その後数秒で室温表示に変わります。

※設定温度と実際の吹出口から出ている冷風温度は異なります。

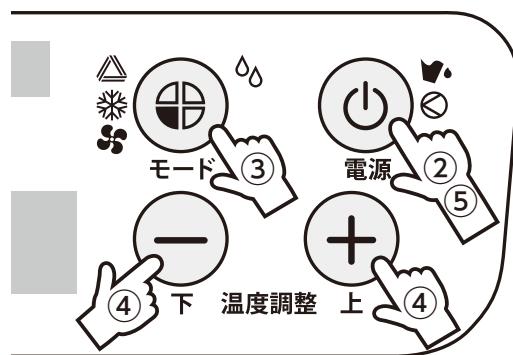
※現在の室温よりも低い温度にセットしてください。部屋の温度よりも高い温度にセットした場合、冷風運転せず送風運転になります。

※冷風運転中は、設定温度を維持するためにコンプレッサーがON・OFFを繰り返します。

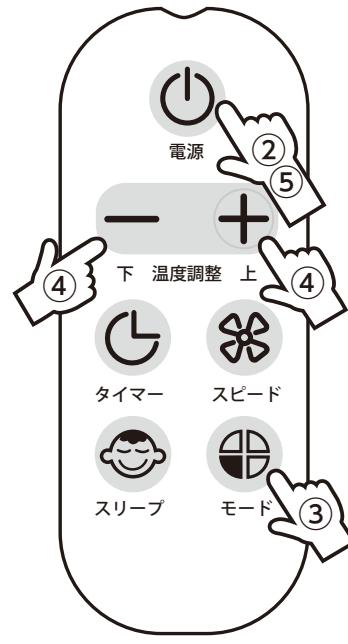
※コンプレッサー動作中は「○」が点灯します。

⑤運転停止は、操作パネルまたはリモコンの「電源」ボタンを押して運転を停止させてください。

運転を停止した直後すぐに運転を再開しないでください。  
必ず3分以上お待ちになってから運転を行ってください。



操作パネル



リモコン

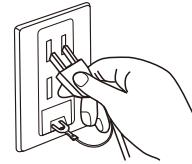
## ④ 正しい使い方(つづき)

### 冷風モード運転(※)

①電源プラグをコンセントに差し込んでください。

②操作パネルまたはリモコンの「電源」ボタンを押してください。

リモコンは、本体操作パネルの方向に向けて5m以下の距離で使用ください。  
表示部に室温が表示されます。



③操作パネルまたはリモコンの「モード」ボタンを押して冷風モード(※)を選んでください。

④操作パネルまたはリモコンの「-+」ボタンを押して設定温度を設定してください。

※「-+」ボタンを押すと現在の設定温度が点滅しますので、さらに「-+」ボタンを押すことで16°C~32°Cまで1°C単位で設定できます。その後数秒で室温表示に変わります。

※設定温度と実際の吹出口から出ている冷風温度は異なります。

※現在の室温よりも低い温度にセットしてください。部屋の温度よりも高い温度にセットした場合、冷風運転せず送風運転になります。

※冷風運転中は、設定温度を維持するためにコンプレッサーがON・OFFを繰り返します。

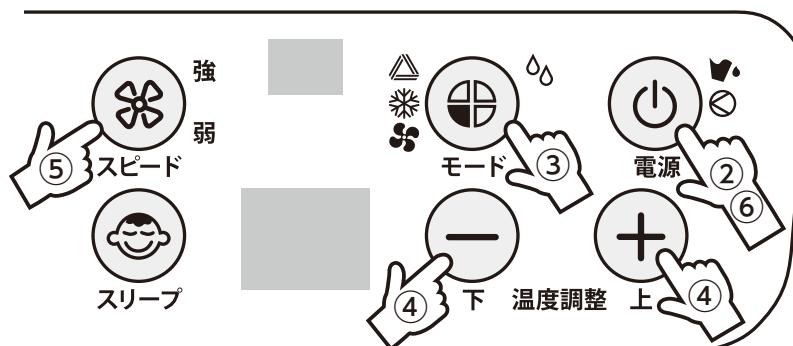
※コンプレッサー動作中は「○」が点灯します。

⑤操作パネルまたはリモコンの「スピード」ボタンを押して風量を選んでください。

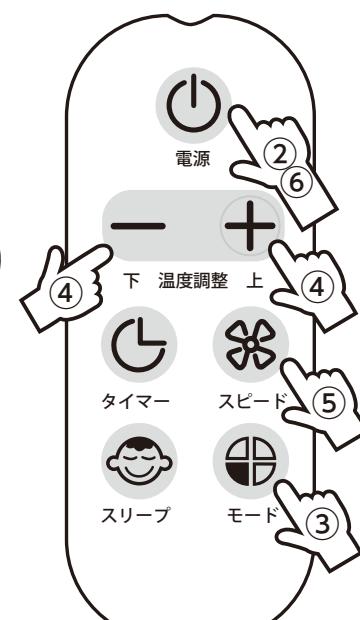
⑥運転停止は、操作パネルまたはリモコンの「電源」ボタンを押して運転を停止させてください。

※操作パネルまたはリモコンの「電源」ボタンにより再度冷風運転を再開した場合、設定温度は前回設定した温度になっていますので、適切な温度に設定し直してください。

運転を停止した直後すぐに運転を再開しないでください。  
必ず3分以上お待ちになってから運転を行ってください。



操作パネル



リモコン

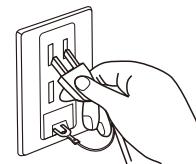
## ④ 正しい使い方(つづき)

### 除湿モード運転(△)

#### ⚠ 注意

- 除湿運転時、閉め切った室内で使用すると除湿効果は上がりますが、室温が上昇します。  
排熱ダクトと窓パネルを使用することにより、室温の上昇を抑え効率的に使用できます。
- 温度・湿度が低くなるにつれて除湿量は少なくなります。
- 除湿運転時、背面の排水口にドレンホースを取り付けてください。  
市販の容器等にドレンホースを差し込み、ドレン水を溜められるようにしてください。
- 除湿運転時、温度設定はできません。

①電源プラグをコンセントに差し込んでください。



②操作パネルまたはリモコンの「電源」ボタンを押してください。

リモコンは、本体操作パネルの方向に向けて5m以下の距離で使用ください。  
表示部に室温が表示されます。

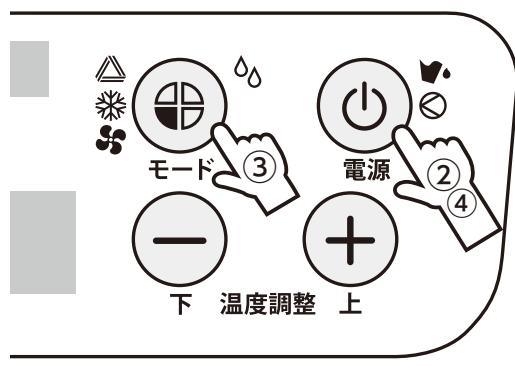
③操作パネルまたはリモコンの「モード」ボタンを押して除湿モード(△)を選んでください。

※室温が25°C以下の時は、風量の変更ができず、弱運転になります。

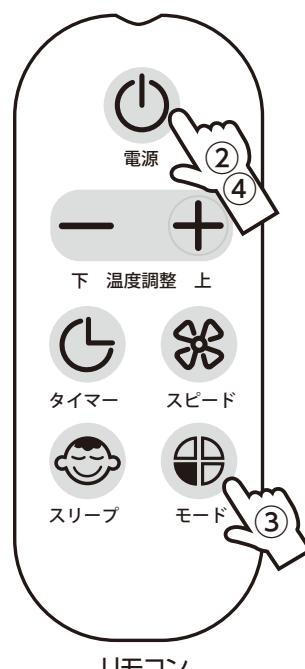
※室温が25°C以上の時は、室温に応じてコンプレッサーがON・OFFを繰り返します。

④運転停止は、操作パネルまたはリモコンの「電源」ボタンを押して運転を停止させてください。

運転を停止した直後すぐに運転を再開しないでください。  
必ず3分以上お待ちになってから運転を行ってください。



操作パネル

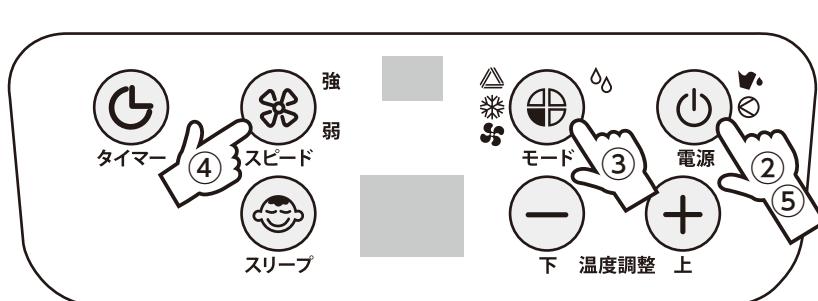
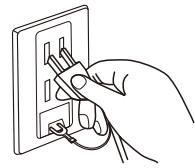


リモコン

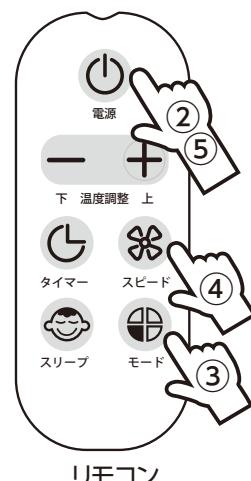
## ④ 正しい使い方(つづき)

### 送風モード運転(風)

- ①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ②操作パネルまたはリモコンの「電源」ボタンを押してください。  
リモコンは、本体操作パネルの方向に向けて5m以下の距離で使用ください。  
表示部に室温が表示されます。
- ③操作パネルまたはリモコンの「モード」ボタンを押して送風モード(風)を選んでください。
- ④操作パネルまたはリモコンの「スピード」ボタンを押して強・弱を選んでください。



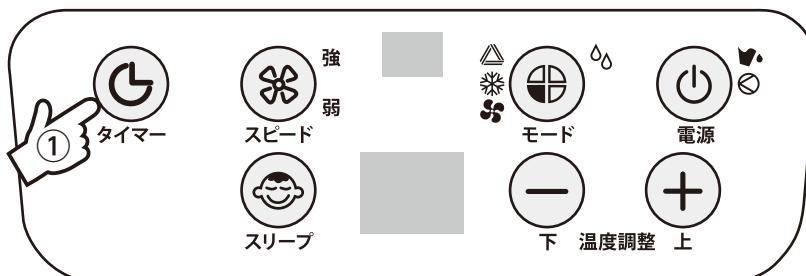
操作パネル



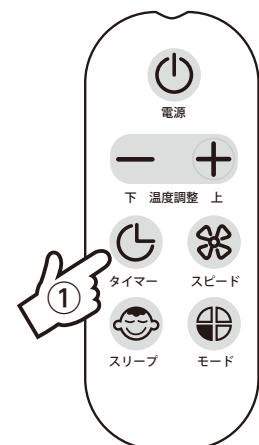
リモコン

### 切りタイマー設定

- ・希望する停止時間(〇〇時間後)を1時間単位で1~24時間まで設定できます。
- ①“運転中”に操作パネルまたはリモコンの「タイマー」ボタンを押して希望する時間を設定してください。
  - ・表示部に設定した時間が表示されます。
  - ・設定時間に達すると、自動的に運転を停止します。



操作パネル(運転中)



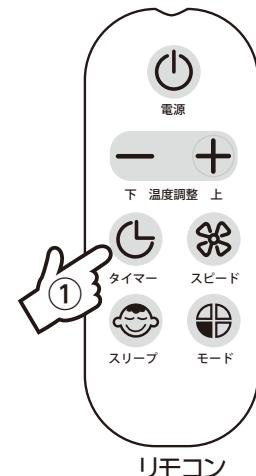
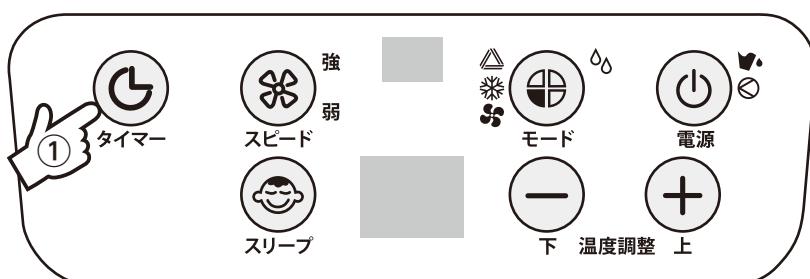
リモコン

## ④ 正しい使い方(つづき)

### 入りタイマー設定

- 希望する運転開始時間(〇〇時間後)を1時間単位で1~24時間まで設定できます。

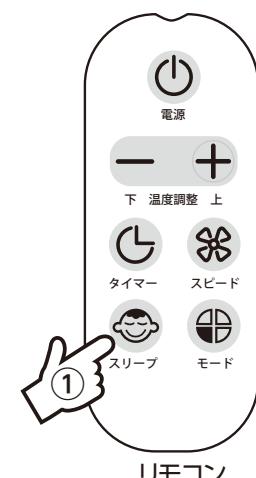
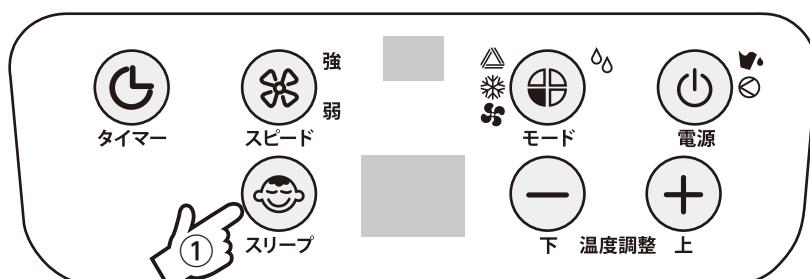
- ①“運転停止中”に操作パネルまたはリモコンの「タイマー」ボタンを押して希望する時間を設定してください。
  - 表示部に設定した時間が表示されます。
  - 設定時間に達すると、自動的に運転開始します。



### スリープ設定

- 冷風モード(※)運転中に使えます。オートモード、送風モード、除湿モードでは使えません。

- ①冷風モード(※)運転中に、操作パネルまたはリモコンの「スリープ」ボタンを押します。



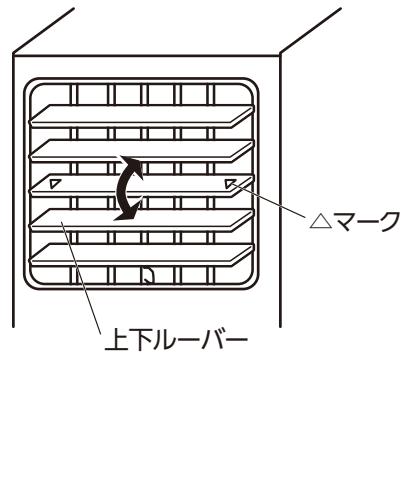
- 送風スピードは自動的に弱になります。
- スリープ設定後、最初の1時間で設定温度が1°C上昇、次の1時間で更に1°C上昇し運転を続けます。
- スリープ設定後12時間で自動的に運転停止します。

## ④ 正しい使い方(つづき)

### 吹出方向の切換

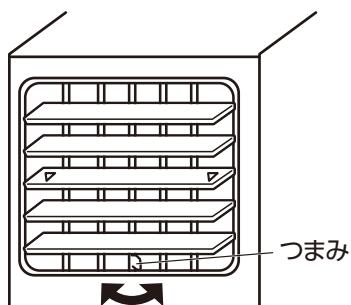
- ・上下ルーバーの中央の羽根(△マーク)を持って上下に調整してください

上下調節幅は、およそ水平方向から45°の範囲になります。



- ・左右ルーバーのつまみを持って左右に調整してください

左右調節幅は、微調整程度の範囲になります。

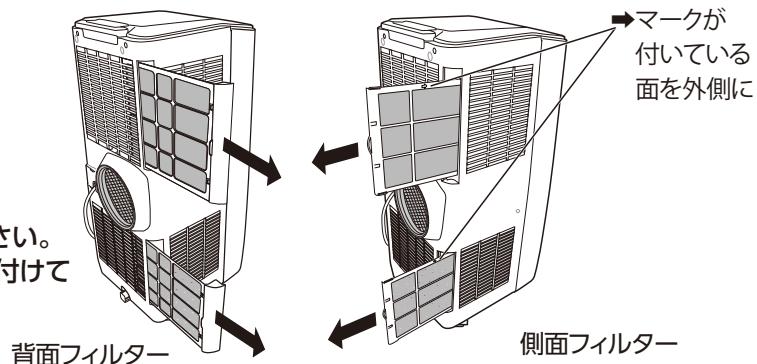


## ⑤ お手入れと保管

### お手入れ

#### 1. フィルターのお手入れ

- ・先ず背面フィルターを引抜いた後、側面フィルターを引出してください。
- ・フィルターのホコリを電気掃除機などで吸収ってください。
- ・汚れのひどいときは、水洗いしてください。
- ・フィルターは完全に乾かしてから取り付けてください。



#### ⚠ 注意

- フィルターの掃除はこまめに行ってください。

・フィルターが汚れていると本体内部が結露し、故障の原因となります。

#### 2. 本体のお手入れ

- ・やわらかい布などを水またはぬるま湯に浸し、かたくしほってから使用ください。
- 汚れがひどい場合は、台所用中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯を使用してください。
- その場合、乾いた布などできれいに拭き取ってください。

#### ⚠ 注意

- 直接水をかけて掃除することは、絶対にしないでください。  
・電気絶縁が悪くなり、ショート・感電・火災の原因となります。
- シンナー・ベンジン・薬品・みがき粉等を使用しないでください。  
・塗装面をいためたり、故障の原因になります。
- 化学ぞうきんを使用の場合は、その注意書きに従ってください。

## ⑤ お手入れと保管(つづき)

### 保管

- 「お手入れ」方法に従って、お手入れしてください。
- 1時間ほど、送風運転を行い、本体内部を乾燥させてください。
- ホコリがたまらないように適当なカバーをかけてください。
- 部品をなくさないように、保管してください。
- お子様の手の届かないところに保管し、湿度の高いところ、風雨にさらされるところ、直射日光の当たるところはさけてください。

#### ⚠ 注意

- 保管するときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
  - ・感電やケガをする原因となります。
- 本機を横倒しで保管しないでください。
  - ・再始動のとき、コンプレッサーなどの故障の原因になります。

※熱交換器、シロッコファンなどの内部掃除は、お買上げの販売店または保証書に記載されている当社「商品についての全般的なご相談」窓口にお問い合わせください。

## ⑥ 「故障かな?」と思ったら

修理を依頼される前にお確かめください。

症 状	お確かめください
スイッチを入れても運転しない	電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか? 停電ではありませんか? ブレーカーが切れていませんか?
冷えない	保護機能(オーバーロードプロテクター)が作動中ではありませんか? →一度電源を切り、3分以上待ってから再運転してください。 フィルター・冷風吹出し口・排熱口が障害物でふさがれていませんか? フィルターが汚れていませんか? 周囲の温度が35°Cをこえていませんか? →本機は16°C~35°Cの範囲でご使用ください。
水が漏れる	ドレン口が詰まっていますか? ドレンホースが詰まっていますか?
霜が付く	周囲の温度が16°C未満ではありませんか? →本機は16°C~35°Cの範囲でご使用ください。 フィルターが汚れていませんか?
操作パネル表示部に「E1」が表示される	E1:室温温度センサーの故障 自己診断機能が働いて異常検知をしています。お買上げの販売店にご相談ください。

次のような場合には点検・修理が必要です。

長年ご使用の移動式クーラーは点検を!

#### ご使用の際このようなことはありませんか?

- スイッチを入れても時々運転しないことがある。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 本体が変形していたり、異常に熱い。
- 焦げ臭い“におい”がある。
- その他の異常がある。

上記症状がなくても、お買上げ後4~5年程度たちましたら、安全のため点検をご依頼ください。点検費用につきましては販売店にご相談ください。

#### ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてからお買上げの販売店にご相談ください。

※お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険ですので絶対におやめください。

## ⑦ 保証とアフターサービス

### 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

#### <本体への表示内容>

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。



#### 製造年 本体に西暦 4 行で表示してあります 設計上の標準使用期間 8 年

設計上の標準使用期間を超えて使用されると、経年劣化による  
発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

#### <設計上の標準使用期間とは>

※運転時間や温湿度など、標準的な仕様条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用  
することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、保証書に記載の無料修理期間とは異なります。偶発的な故障を保証するもので  
もありません。

#### ●設計上の標準使用期間算定条件

項目		条件
使用環境	使用条件	100V 50Hz/60Hz
	室内 温度 / 湿度	27°C / 47%
	室外 温度 / 湿度	35°C / 40%
	設置条件	標準設置
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った部屋の広さ
想定時間	1日あたりの使用時間	9時間
	1年間の使用日数	112日 (6/2 ~ 9/21)

※「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

#### 1. 保証書

- この製品には保証書がついています。  
保証書はお買上げの販売店で「販売店名・  
お買上げ日」などの記入をご確認のうえ、  
内容を良く読み、大切に保管してください。  
保証期間はお買上げ日より1年間です。

#### 2. 修理を依頼されるとき

- 内部をさわらずにお買上げの販売店にご依頼ください。保証の記載内容により修理いたします。
- 破損箇所をさわらずにお買上げの販売店にご依頼ください。保証の記載内容により修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときはお買上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

#### 3. 補修用性能部品の最低保有期間

- この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は製造打切後 6 年としております。

#### 4. アフターサービスについてご不明の場合

- 修理サービスや商品についてのご相談は、お買上げの販売店にご依頼ください。
- ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、保証書に記載の当社まで、お問い合わせください。

# 保証書

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

品名	移動式クーラー	型式	KEP253R		
保証期間	1年間(消耗品は除く)	★お買上げ日	年	月	日
★お客様	ご住所	〒	TEL		
	お名前	様			
★販売店	住所・店名 電話番号	販売店印又は保証書・レシート添付欄			
					印

★印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

お買上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体銘板その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき、お買上げの販売店が無料修理いたしますので、本保証書にご記入のうえ、製品に添付し、お買上げの販売店にご依頼ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
  - イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
  - ロ. お買上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
  - ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
2. 本書の提示がない場合。
  - ホ. 本書にお買上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
3. ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入してあるお買上げの販売店に修理を依頼されることができない場合には、本書記載の当社にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

●この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または本書記載の当社にお問い合わせください。

商品についての全般的なご相談  
フリーダイヤル  
受付時間：平日9:00～17:30

0120-295-595

KODEN

株式会社 広電

〒170-0013

東京都豊島区東池袋1丁目32番7号

<https://koden-j.com/>